

長久手市文化の家  
**フレンズ**  
**年次総会を開催**  
**4月4日 光のホール**



フレンズ総会で祝辞を述べられる文化の家 高嶋隆明館長

文化の家フレンズの2015年度総会が、4月4日土曜日文化の家光のホールで行われました。開催に先立ち、平成26年度愛知県広報コンクール映像部門で特選を受賞した文化の家開館15周年記念映像を上映し(これは文化の家のホームページでも見ることができず、その後に総会を開会しました。はじめに4月に文化の家館長に就任された高嶋館長から「前館長から引き継いだ名誉と品格を大切にしていきたい」と思います。

市民協働や市民の居場所のあるまちづくりという考えは早くからフレンズの活動が基本になっており、品格を保ちつつ、市民に開かれた会館、市民と協働できる会館を目指したい」とごあいさつをいただきました。

議事に入り、2014年度の活動報告、会計報告があり、新年度に向けて事業企画をより良いものにするための企画方法などのご意見をいただいて質疑応答の後、提案どおり承認され、続いて2015年度の活動計画および予算案も可決承認されました。

次に、新年度のフレンズ役員(別掲)選出に続き、文化の家榎山事務局長より4月の人事異動に伴う文化の家担当職員の紹介があり総会を終えました。

**総会後のアトラクション**

**オカリナの音色を楽しむ**

総会後のアトラクションは「フ

フレンズのつどい』でおなじみのオカリナ室内合奏団「クオーレ」のコンサートが行われました。「百万本のバラ」に始まり、「渚のアデリーヌ」のオカリナとトーンチャイムのコラボでは美しい音色が会場いっぱい響き渡りました。「ウイリアムテル序曲」「ベルシヤの市場にて」「エル・クンバンチェロ」などクラシックや外国民謡など8曲が楽しいトークを交えながら演奏され、最後に「夜霧のしのび逢い」が奏でられ、緊張した総会の雰囲気も忘れ、ほっとしたやさしい時間が流れました。



オカリナ室内合奏団「クオーレ」の皆さん

**フレンズのつどい Part. 33**

**箏、十七絃、尺八による  
今どきの新しい邦楽オリジナル曲コンサート**

出演：男組 野村倫子 + 木蓮の会  
特別ゲスト出演：尺八 野村峰山 野村幹人  
7月25日(土) 午後5時開演  
森のホール

**入場料**

(指定席)フレンズ会員 2,000円(会員本人のみ)  
— 一般 2,500円  
(自由席)フレンズ会員 1,500円(会員本人のみ)  
— 一般 2,000円

**2015年度フレンズ役員**

会長 水野美々子  
副会長 石田由利子(文化の家運営委員)(事業部部長)  
副会長 須田千賀子(文化の家企画委員)  
会計 浅田悠紀  
事務局長 山口 節子  
役員 鈴木多恵子(当日運営部部長)  
役員 酒井 光恵(機関紙部部長)  
役員 福岡八重子(研修部部長)  
役員 牧野 洋子(マニュアル部部長)  
監査 瀬川 典子  
監査 森下 愛子(文化の家職員)

# 館長就任にあたって

文化の家館長

高嶋隆明

前館長の川上から大役を一任され、4月より文化の家館長に拝命されました高嶋隆明です。文化の家を含め、市民のくらしと文化に密着した行政サービスを振興するくらし文化部長も兼任しております。文化芸術は、日常の暮らしに溶け込んでこそ人を醸成させ成長させるものと考えます。その点、フレンドズ会員の皆さま及びフレンドズスタッフの方々は、開館から文化の家とともに歩み、学び、これまでの活動の成果があつて今の文化の家があると思ひます。

芸術分野に関しては勉強中ではありますが、皆さまの期待に応えられるよう精進して参りますので御指導、御鞭撻の程よろしくお願ひします。



写真:前列左から 太田千晶さん 山本一裕さん 大谷悠さん  
後列左から 星合ちひろさん 寺嶋佳奈さん

## 市役所 人事異動にともなう

文化の家に配属の  
皆さん ご紹介

よろしくお願ひします

### 皆さんのごあいさつ

文化の家 事務局長補佐 山本一裕

4月の人事異動で文化の家に配属されました山本です。昨年度までは、総務部行政課に在籍していました。

現時点では、文化・芸術について初心者ですが、フレンドズの皆様からご指導いただき、文化・芸術の楽しさや素晴らしさを伝えていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。

管理係 大谷悠

今年度から文化の家に配属されました大谷です。昨年度までは環境課に在籍し、さまざまな環境問題に取り組んでいました。

入庁してから万博や市制施行などを担当する部署に所属し、記念イベントや式典で文化の家を何度も利用させていただきましたが、今回、文化の家を「利用する」側から「利用していただく」側になったことで、文化の家のスタッフや利用者の方々への恩返しができる機会ができたことを大変嬉しく思っています。

誰もが利用したいと思っていただけ文化の家を目指して一所懸命に取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願ひします。

管理係 太田千晶

今年度より、文化の家に配属となりました太田です。

昨年度までは、総務部税務課に在籍していました。入庁して5年目となります。

私自身、文化・芸術に関して初心者ですが、美術鑑賞が好きです。

フレンドズの皆さまからご指導を受けながら早く活躍できる人材になれるよう 頑張ります。

これからどうぞよろしくお願ひします。

事業係 寺嶋佳奈

この度、事業係に配属となりました寺嶋佳奈です。

3月までの2年間は、教育総務課で小中学校の工事や施設管理の仕事を担当していました。

業務も関わる人もこれまでと全く違っていて、毎日がとても刺激的です。

文化や芸術を通じて楽しみながら成長していけたらと思っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。

管理係 星合ちひろ

今年度、新規採用職員として文化の家に配属になりました星合ちひろです。

皆様に多くのことを教えていただきながら、社会人として自分自身に責任を持ち、文化の家に関わる様々なことに取り組んでいきたいと考えています。早く一人前の働きができるよう努力していきますので、ご指導よろしくお願ひいたします。

フレンズにあたたかい  
眼差し

# 川上館長退任

長い間  
ありがとうございました

## フレンズの皆さんへ

フレンズの皆さん、大変遅くなってしまいました。去る3月末日をもって文化の家の館長を退任しましたことを報告させていただきます。

数年間のつもりで拝受したその席に何倍もの長きにわたって居続けてしまいました。就任時に買い入れた通勤用のビニール靴も、今はこれ見よがしに痛みほころんで象徴的です。

文化の家の14年間は開館時に策定された「マスタープラン」をいかに忠実に現実化するかに終始したといってもいいかも知れません。「フレンズ」はこの先駆的なマスタープランの根幹に属し、その協働の実は早くから全国的な注目を集めていました。そしてこれは今も変わっていません。わたしたちの誇りの最たるものであります。フレンズの、とりわけスタッフの皆さんの、変わらざる



心意気を切に願ひ祈って退任の挨拶とさせていただきます。

長い間、本当にありがとうございました。

平成27年4月

川上 實

## 川上 前館長の ご退任によせて

フレンズ会長 水野美夕子

フレンズは、文化の家とともに歩みを進めて行く中で、川上館長に見守られていると感じることで、より充実した活動をする事ができ、会として成長してきたと思っております。

フレンズの活動をいつも温かい眼差しで見守っていただけたこと、またその存在を高く評価していただけたことを心からうれしく感謝しております。

川上館長の想いを受け止めこれからもフレンズの心意気を発揮していきたいと思えます。本当に今まで支えていただきありがとうございました。

愛知県警察音楽隊の演奏を楽しみながら

## 緊張感あふれる「避難訓練コンサート」

3月27日（金） 文化の家 森のホール

3月27日の午後、文化の家森のホールで、コンサート中に大地震が発生したと想定する避難訓練が行われました。

この日は、一般市民約190名が観客として入場し、フレンズスタッフも14名がホールスタッフとして参加しました。

コンサート中の避難訓練は、愛知県警察音楽隊の演奏が繰り広げられている最中、突然すべての照明が消えた会場に、場内放送によって地震発生が告げられ、観客は低い姿勢をとって、身の安全を確保しつつ次の指示を待ちました。

やがて、照明が消えたままの中で舞台を通過して楽屋方向へ避難するよう指示があり、参加者は、係員の指示と誘導に従い楽屋口から建物裏手へ退出しました。

避難が無事に行われたことを確認されると、観客はもう一度森のホールへ戻って、愛知県警担当者や長久手市消防署員から訓練結果の講評、災害発生時の心構えなどの話を聞いた後、あらためて県警音楽隊の素晴らしい演奏を楽しみました。

参加者からは「暗い中でホールを移動するときはドキドキと緊張した」「たくさんの方が誘導してくれたので安心できた」「実際の地震などでは、けが人なども出て大変、そのためにも訓練を重ねることが大切だと思った」などの感想が寄せられました。

こうした実践的な避難訓練は、実際の災害発生に備え、観客をはじめ関係者の対応力を高めたり、会館の構造や設備などをあらためてチェックする大切な機会といえます。



防災や避難訓練の大切さを語る  
長久手市消防本部総務課予防担当当時の井上圭幹



ジャンルにとらわれず自由・ユニークな活動続ける  
矢野顕子の即興性にあふれるピアノ弾き語り



矢野顕子「ひとりで飛ばすよ、どこまでも。」ツアー2015

5月23日(土) 17:30 開演

森のホール ※全席指定 3歳未満入場不可

料金 5,500円

平成27年度公共ホール演劇ネットワーク事業  
ハイバイ「ヒッキー・カンクーントルネード」



7月16日(木) 7月17日(金)

いずれも 19:00 開演

風のホール ※全席指定 未就学児入場不可

出演: 田村健太郎、岡田瑞葉、後藤剛範、平原テツ

チャン・リーメイ

料金: 前売 フレンズ 2,500円

一般 3,000円 学生 1,500円

当日 フレンズ・一般 3,300円

学生 1,800円

◆ 関連上映会&トークイベント ◆

●上映作品 テレビ東京「終電ごはん」

6月6日(土) 14:00 開演

光のホール ※定員100名 全席自由

入場無料※要整理券

編集者コラム

芽吹きに新しい生命を身体いっばいに感じた時「誕生日は一年間健やかに過ごせたことに感謝する日」と教えていただいたことを思い出した。感謝して迎えたい!

(美)

グループ・ばる

vol.22 「蜜柑とユウウツ〜茨木のり子異聞〜」



7月3日(金) 19:00 開演

森のホール ※全席指定 未就学児入場不可

出演: 松金よね子、岡本麗、田岡美也子(以上、グループ・ばる)

木野花、小林隆、野添義弘(劇団SET)

岡田達也(演劇集団キャラメルボックス)

料金: フレンズ 3,600円(前売のみ)

一般 4,000円 学生 2,000円

歩き方忘れました



長久手市 M・F

昨年9月、思わぬ出来事で右足の半月板を損傷してしまいました。  
入院して縫合手術の後、両松葉杖から片松葉杖になり、歩行の練習に入りました。  
すると、今までどのようにして歩いていったのか皆目わかりません。歩き方を脳が忘れたのです。  
リハビリの先生が言葉にして教えてくれました。  
「まず右足は伸ばして体重かけて」  
「脱力して自然に曲げて後ろへ」  
「曲げたまま前へ」  
それを頭で懸命に理解しながらぎこちなく一歩踏み出しました。  
人間は、ずっと歩かないでいると歩けなくなることは、知識として知ってはいましたが

本当に「全く」わからないんだという現実に驚きました。  
それでも左足を見本にしながら動作のひとつひとつを声に出してスローモーションで練習しました。  
以前はこうしようと意識してもしなくても瞬時に足が動きましたが、それができなくなつて、いろいろな場面で人の手を借りなければならなくなり、「歩けるって一番大事なことなんだ」と、心の底から思いました。  
半年以上たつてやっと杖なしでも歩けるようになりました。  
二度とこのような思いをしないよう、今は筋トレに励んでいます。